

A Seven-Dollar Dream
(7ドルの夢)

P.114

Part 1

子供が希望を持ち、父親が祈る時、小さな奇跡が起きることがある。

「求む:バイオリン。あまり払えません。電話は・・・」

なぜ、私はそれに気づいたのだろうか?

私は、めったに新聞広告を見ることはないため、不思議に思った。

私は膝の上にその新聞を置き、目を閉じた。

そして、私の家族が非常に貧しかった何年も前のことを思い出した。

私も、バイオリンが欲しかったが、私たちにはそのようなお金はなかったのだった。

私の双子の姉が音楽に興味を示した時、アンは祖母のピアノを弾くようになり、スーザンは父のバイオリンに興味を持った。

すぐに、その双子が何度も何度も演奏するにつれ、簡単な節は美しいメロディーへと変わっていった。

私はただ、聞いているだけだった。

【WORDS】

miracle	〔名詞〕	奇跡
Wanted:Violin	〔熟語〕	求む:バイオリン
rarely	〔副詞〕	めったに～ない
ad	〔名詞〕	広告
lap	〔名詞〕	膝
twin	〔名詞〕	双子
older twin sisters	〔熟語〕	双子の姉たち
Anne	〔固有名詞〕	アン
while	〔接続詞〕	一方
grandma	〔名詞〕	祖母
Suzanne	〔固有名詞〕	スーザン
turn to~	〔熟語〕	～に関心を向ける
daddy	〔名詞〕	父

P.115

私の腕が十分長くなったとき、私はスーザンのバイオリンを弾こうとしてみた。

私は、その美しい音色が大好きだった。

私は、自分のバイオリンが本当に欲しくなった。

しかし、それは問題外であると言うことを、私は知っていた。

ある晩、双子たちが学校のオーケストラで演奏している中、私は目を閉じて、自分自身に言い聞かせてた。

「いつか私もあそこに座るわ。」

【POINT】

[say to oneself]=『自分に言い聞かせる、心で思う』

Part 2

それは、良い年ではなかった。

収穫期に、作物は私たちが期待したほどの収入をもたらさなかった。

しかし、厳しい時期でも、私は待つことが出来なかった。

私は尋ねた。「お父さん、自分のバイオリンを持ってもいい？」

「メアリー、スーザンの物を使えないのか？」

「私もオーケストラに入りたいの。そして私たちは同時に同じバイオリンを使うことは出来ないわ。」

父の顔は泣かしそうに見えた。

私は、父がよく紙に祈っているのを聞いた。「神様、メアリーが自分のバイオリンを欲しがっているのです。」

ある夜、私たちは皆テーブルの周りに座った。

双子の姉と私は勉強していた。

母は縫い物をして、父はオハイオ州のコロンブスにいる、友人のジョージ・フィンクルに手紙を書いていた。

【WORDS】

on one's own	〔熟語〕	自分自身の～
out of the question	〔熟語〕	問題にならない、全く不可能な
orchestra	〔名詞〕	オーケストラ
harvest	〔名詞〕	収穫期
crop	〔名詞〕	作物
though	〔接続詞〕	～だが
even though	〔接続詞〕	たとえ～でも
Lord	〔固有名詞〕	主よ
sew	〔動詞〕	縫う
George Finkle	〔固有名詞〕	ジョージ・フィンクル

P.116

父は、ミスター・フィンクルは良いバイオリニストだと言った。

父は書いた。「私の 3 人目の娘のために、バイオリンを見つけてくれませんか？」

あまり払えませんが、彼女は音楽が好きで、私たちは彼女に自分のバイオリンを持たせて足りたいと思っていますので
す。」

【POINT】

We' d (=We would) like her to have her own violin.

「私たちは彼女に自分のバイオリンを持たせてやりたいと思っている」

[would like 人 to do]=『人に～してほしい』(=want 人 to do)

【WORDS】

Columbus

〔固有名詞〕

コロンブス

Ohio

〔固有名詞〕

オハイオ州

violinist

〔名詞〕

バイオリニスト

VIVID 1 SAMPLE